

## 令和2年度自己評価及び学校関係者評価書

## 1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たすべく、保護者アンケートを参考にした自己評価と学校関係者の意見を真摯に受け止め学校の発展に努めていきたい。

## 2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	・キャリア教育構造図の具体的実践と改善。	・授業改善に取り組み「わかる授業」を目指すことができた。 ・学力向上と資格取得に向けた積極的な取り組みを推進する。	A	・各コースの特色を生かす高度な資格取得。コースの柱となる資格を設定し、取り組む。 ・新教育課程作成工程表の編成	新型コロナウイルスの影響で、学校関係者を招聘し、会議を実施できませんでした。
教育課程・学習指導	・主体的・対話的で深い学びの実践の推進と基礎学力の定着を図りつつ、学力の向上を目指す。 ・学習指導要領改訂の基本的な考え方を踏まえた新教育課程の編成に取り組む。	・「本時の目標」「授業の流れ」の明示を含め、授業に集中できる環境作りを、教員・生徒に呼びかける。また、自らの意見を持ち、それを表現する力を育てるために、授業や考査において機会を設けるように働きかける。	A	・単に学習した内容をなぞって満足していないか、さらに考えを深めさせる工夫をしているかを今後も考えていくべきである。	
進路指導	・進路意識の早期確立と学年進行に応じた継続的な指導を行う。	・情報収集を第一とし、各学年に状況説明や今後の指導について提案をした。	A	・生徒の希望する職業と適性のミスマッチをどうするかに課題がある。	
生徒指導	・礼儀・規律・公共心と自己有用感の育成に努めるとともに、問題行動や事故の未然防止を図る。	・注意や啓発だけでは行動に結びつかない生徒もいるため自己指導能力を高めるための指導計画を工夫した。	B	・「いつでも」「どこでも」「だれでも」生徒指導を行うための指導計画の見直し	
保健	・校内の安全・美化に努め、生徒を取り巻く環境を整える。	・大清掃や毎日の消毒作業は全職員の協力の下に行った。	A	・新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行い、生徒に適宜注意喚起する。	
教育相談	・生徒の健全育成に努め、心身の諸問題の解決を積極的に支援する。	・スクールカウンセラーの来校予定を周知し、カウンセリングが有効と思われる生徒には相談を勧めた。	A	・継続的に来校予定を一斉メールで周知し、利用を喚起する。	
特別活動	・全校生徒参加による自主的・創造的生徒会活動を支援する。	・コロナ対策のため行事の進め方など、多くの場面で予定変更を余儀なくされる場面が多かった。	A	・部活動のあり方について考え、さらなる活性化を目指す	
図書	・情報センターとしての図書館利用を活性化する。	・教職員に呼びかけて生徒の進路に資する図書のアンケートを採り購入し、随時特設コーナーを設けている。	B	・生徒を図書館に誘導するために、図書館便り等の広報に力を入れる。	
家庭地域	・学校情報の広報活動をHPやメールを活用し、活発化する	・コロナ禍の保護者対応、情報提供が速やかに出来た。	A	・各種行事・式典の実施の工夫(参加人数や来賓等の参加について)	